

## 新たな情報開示モデルとIRの実証的効果測定 最終報告書

2011年2月

### I コーポレート・ガバナンス

- 第1章 取締役会改革とIR  
・・・加賀谷 哲之（一橋大学） 11
- 第2章 企業のリスク情報開示行動とコーポレート・ガバナンスとの関係  
・・・金 鉉玉（東京経済大学） 29
- 第3章 BCMとコーポレート・ガバナンスと開示の関係性  
—BCMのジレンマを克服するIRの役割—  
・・・加賀谷 哲之（一橋大学） 49

### II 財務報告・開示の信頼性

- 第4章 企業再編における利益調整行動とIR  
・・・矢部 謙介（名古屋商科大学）  
・・・青木 康晴（名古屋商科大学） 71
- 第5章 企業の業績予想バイアスと証券アナリストの関係  
・・・円谷 昭一（埼玉大学） 89
- 第6章 ストック・オプションの中止と適時開示  
・・・竹口 圭輔（法政大学） 99
- 第7章 財務制限条項設定企業の開示行動による効果  
・・・中村 亮介（帝京大学） 117
- 第8章 アニュアルレポートにおけるグラフの利用と効果  
・・・川島 健司（法政大学） 133

### III 税務情報

- 第9章 利益公表に対する市場の反応  
—税金情報に対する市場の反応を分析する手掛かりとして—  
・・・米谷 健司（東北大学） 151
- 第10章 税金情報と利益の成長性及び持続性の関係  
・・・米谷 健司（東北大学） 165
- 第11章 移転価格税制についての自発的開示とその影響  
・・・大沼 宏（東京理科大学） 177